

重点的に取り組んだ活動・内容

項 目	実 践 状 況
<p>1 実践1 【諏訪小人権週間】 人権啓発ビデオ視聴 「差別のない世界へ」 「共に生きるということ」 「性的マイノリティへの理解を深める動画」</p>	<p>「差別のない社会へ」と「共に生きるということ」の動画は、全国中学生人権作文コンテストにおいて、法務事務次官賞を受賞した作品を原作として映像化したドラマである。作者の中学生が、自らの体験を通して、障害をもった人や、外国人による人種差別など、様々な人がいるという現実を知り、「人権」について理解を深めていったプロセスが描かれている。また、「性的マイノリティへの理解を深める動画」は高学年を対象に視聴した。</p> <p>成果 実際の体験を元にしたドラマや、学校生活の中で起こりうる場面設定であったため、そのときの気持ちを十分に考え、差別に対する考えや思いを深めることができた。</p> <p>課題 障害のある人を見かけてもなかなかイメージがもてない児童もいる。自分が相手の立場になって、声を掛けられてどんな気持ちになったかを振り返らせ、その気持ちを周りにも分けてあげられるような意識を高めたい。</p>
<p>2 実践2 【いじめ0フォーラム】 校内生徒指導研修会</p>	<p>運営委員会が主体となって、全児童がオンラインで参加する集会を行った。本校のいじめの現状を知ると共に、児童が主体となって、いじめを自分たちの問題として捉え、いじめの問題を予防しようとしたり、解決しようとしたりする意欲を高めた。</p> <p>成果 「いじめ」についての定義をクイズを交えて解説したことにより、以前よりもいじめについての知識が高まった。各学級で「いじめ0宣言」を話し合っ、代表者が全校児童の前で発表したことにより、いじめをしないようにするという意識を高めることができた。</p> <p>課題 いじめ0フォーラムを実施したのが、6月中旬だったため、教室内に宣言を掲示しているが、意識が薄れていった感じがした。学期末に振り返ったり、宣言を復唱したりして、意欲を継続できると良かった。</p>